

SAP Solution Brief SAP NetWeaver



散在するマスターデータのすべてを 一元的に管理する統合ソリューション

顧客、製品、サプライヤー、財務、従業員データの
統合ビューを提供

SAP NetWeaver® Master Data Management (SAP NetWeaver MDM)コンポーネントは、あらゆる種類のマスターデータオブジェクトの整理統合、同期、配信、集中管理、公開を全社規模で、そして取引パートナーとの間で実現します。すべての戦略的データを1カ所から把握することで、業務プロセスの改善が促進され、サービス指向アーキテクチャー(SOA)実現に向けた基盤の構築も推進されます。

マスターデータを企業全体で整理統合し、調和させる

ほとんどの企業が、マスターデータを複数のシステムやアプリケーションに分散して保存しています。分断された保管庫で個別に管理していると、各所のデータが膨れ上がり、データに矛盾が生じてしまうことがあります。そのような同期されていないマスターデータに基づいて意思決定や業務プロセスを行うことは、リスクの増大、無駄の増加、顧客満足度の低下にしかつながらずありません。

たとえば、あるシステムでは「事務用品」と分類されている商品が、別のシステムでは「文房具」に、さらに別のシステムでは「用紙」に分類されていることも考えられます。また、5社の卸元が扱っている同じ自動車部品に、別々の部品番号が振られている場合もあるかもしれません。同じ部品に2つの年式があり、さらに3種類のパッケージングで流通しているとすると、同一の仕様データが別々のものとして何件もマスター登録され、本来なら必要のない重複データが発生してしまいます。データの一貫性が失われた先に待っているのは、コストと手間のかかる手作業、単純ミス、遅延コスト、収益機会の喪失、不要な支出など、企業にとって不都合なことばかりです。

この問題は、顧客サービスや購買調達管理といった特定の業務領域や、特定の業界に限定されるものではありません。たとえば、金融サービス業界における調査では、仲介取引が失敗する原因の約30%はマスターデータの不整合にあると見られています。製造業の直線的・逐次的なプロセスも同様の影響を受けることになります。たとえば、研究開発部門が次世代製品を設計したとしても、新製品の出荷に向けた導入プロセスでミスが生じ、特性の異なる古い製品と同じコードが使われたとしたらどうでしょうか。新製品の開発とマーケティングに何億円もの費用をつぎ込んだ上で製品の出荷に失敗すれば、その損失は企業生命にもかかわる規模に達するでしょう。

企業が自社のマスターデータを共有/公開する必要がある場合、同期されていない情報による悪影響はさらに広範囲に及びます。たとえば、製品、顧客、従業員のデータを関連会社や取引先に配信するとき、データプールサービスへの登録を行うとき、検索可能なWebカタログを公開するとき、マスターデータの一部を各地の営業部門に同時配信するとき、カタログを印刷するときなど、実にさまざまな場面で不都合が生じます。これらの問題を回避するには、どうすればよいのでしょうか。マスターデータの整理統合、それが答えです。

SAP NetWeaver Master Data Management (SAP NetWeaver MDM) コンポーネントを導入することにより、マスターデータの整理統合、調和、同期配信、一元管理が実現します。このコンポーネントはあらゆる種類のデータソースをサポートしているため、既存の旧式のシステムやアプリケーションのデータも有効活用できます。マスターデータを集約し、信頼性を高めることは、業務プロセス、応答性、意思決定能力の改善につながります。そして、こうしたメリットは業界や業種を問わず、あらゆる企業に共通してもたらされると期待できます。

情報の集中管理体制の確立

SAP NetWeaver MDM では、整理統合、調和、一元管理という3段階に分かれたアプローチで、順を追ってマスターデータ管理に取り組むことができます。

マスターデータの整理統合

データの整理統合の段階には、データの抽出、変換、読み込み機能をまとめて行うインポート工程のほかに、包括的なデータクレンジング工程も含まれます。SAP NetWeaver MDM では、マスターデータスキーマ(マスターデータ構造)全体だけでなく、マスターデータの値や分類法情報(属性など)もインポートすることができます。また、スケーラビリティを高めるためにラージテキストとXMLファイルをサポートしており、例外管理機能も備わっています。SAP NetWeaver MDM には、特別な設定が不要でカスタマイズにも対応する豊富なデータモデル(顧客、ベンダー/サプライヤー、従業員、製品、品目など)が用意されています。これを使用することで、SAP か SAP 以外かを問わず、分断され種類も異なる複数のソースから、すべてのマスターデータを1カ所に集約することができます。つまり、このコンポーネントでは、事前設定済みの統合構造を活用した迅速な導入が実現しています。

データクレンジング中には、重複データの削除と正規化、ID マッピング、照合とマージ、ステージング、変更追跡、インタラクティブなデータ品質分析、非定型の統合サービスなど、さまざまなデータ操作を実行できます。照合モード機能は、独自の正規化とルールを組み合わせた照合方針を策定する場合に役立ちます。この機能では、一連のレコードに対して照合方針を実行して、条件に合致したレコードを取得し、その結果を表示したり、マージを実行したりできます。合致した各レコードにはスコアが付けられるため、インタラクティブな操作でマージ対象のレコードを決定したい場合などに役立ちます。

また、マスターデータの強化に外部のベンダーのシステムを活用することもできます。SAP NetWeaver MDM にはデータ強化サービスが標準で組み込まれているほか、必要であれば Trillium、Dun and Bradstreet などの SAP パートナーからアダプターを入手することもできます。

マスターデータを整理統合することで、複数検索メカニズムによる検索パフォーマンスが大幅に向上します。PDF ファイルのインデックスを作成し、検索することもできます。どのような項目や項目の組み合わせでも、わずか数秒でリポジトリ全体に対する検索が完了します。インデックス作成によってこの効果はさらに高まり、リポジトリに何百万ものデータレコードが含まれている場合でも、1,000分の1秒単位の高いパフォーマンスが得られます。

SAP NetWeaver プラットフォームはあらかじめ統合されているため、アプリケーションの垣根を越えた活用も簡単です。SAP NetWeaver Business Intelligence (SAP NetWeaver BI) コンポーネントを使用すれば、統合されたマスターデータを取得した後、ボタンをクリックするだけで、そのデータと取引情報を合わせて活用することができます。これにより、重要な得意先、最も割高なサプライヤー、最も売れている製品など、ビジネスを行う上でのさまざまな洞察が得られ、それを進行中の業務プロセスに反映することができます。

マスターデータの調和

SAP NetWeaver MDM では、マスターデータ間の調和を保つための強力な同期配信(シンジケーション)モデルを採用しています。このモデルは、SAP または SAP 以外かを問わず、あらゆるソフトウェアシステムのマスターデータの更新に対応しています。データは業界標準のXML形式で配信されます。

配信は、インタラクティブに設定して実行することも、配信時間、処理間隔などを指定して完全に自動化することもできます。さらに、この同期配信機能はデータワークフローに組み込むこともできるため、多階層のロール(役割)ベースモデルに基づいてマスターデータを更新するような管理体制も実現できます。この同期配信機能は、レコードシステムからのマスターデータを管理し、ほかのシステムの情報を自動更新するためのセントラルハブとしての役割を果たします。SAP NetWeaver BIでの分析のために、情報を抽出して送り込むこともできます。

マスターデータの集中管理

SAP NetWeaver MDMでは、複数のソースシステムからマスターデータが収集、統合されます。そして、マスターレコードが作成され、一元管理されます。ユーザーは、機能豊富なクライアントアプリケーションやSAP NetWeaver Portalコンポーネントを使用して、直接この情報を管理できます。使いやすいポータルインターフェースから、たとえば、新規の顧客、ベンダー、製品に関する依頼を登録することができます。

データ管理の観点から、この依頼がワークフローを通じてマスターデータ管理者に届くようにすることも可能です。依頼を受け取ったマスターデータ管理者は、重複レコードが作成されないことを確認し、足りない情報を補った上で、該当オブジェクトを中央で一元的に生成することを承認します。その際には、必要に応じ、グローバル属性を同期配信することも可能です。集中的なユーザー管理は、Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) 認証を利用することで実現します。

マスターデータ管理の用途 / 活用法

マスターデータ管理には、さまざまビジネス用途があります。たとえば、SAP NetWeaver MDMで、画像や関連文書が含まれるオンラインの製品リポジトリを管理することができます(コンテンツ管理)。また、ばらばらのソースで管理されている顧客データを1つのマスターリポジトリに統合すること(顧客データ統合)や、世界中に散在するデータプール間で製品データの正確な交換を実行すること(グローバルデータ同期)もできます。

リッチコンテンツの管理

SAP NetWeaver MDMを使用すれば、PDFや画像など、あらゆる非構造化コンテンツを、一元的なマスターデータとして管理することができます。シングルパスのデータ標準化(組み込みの測定/換算ユニットを使用)と高性能のパラメータ検索機能によって、リッチコンテンツを扱うインタラクティブな手法が実現しています。

PDF文書のフルテキストインデックスの作成と検索もサポートされています(オプションのSAPの検索エンジンとの統合が必要)。また、情報の開示/非開示を、事前設定済みのロール(役割)に基づいて制御することも可能です。

パブリッシュ(公開)機能も完全に統合されているため、Webベースの電子出力と紙ベースの印刷出力の両方を単一のマスターリポジトリから行うことができます。Adobe InDesignなど業界標準のDTPツールと統合すれば、印刷カタログをほとんど全自動で作成することができます。また、再構造化/再フォーマットした抽出データやリポジトリコンテンツの増分更新データをパブリッシュして、関連会社、部門、地域、または取引パートナーに配信することもできます(区切りテキストやXMLなどの各種フォーマットが利用可能)。

グローバルデータの同期

SAP NetWeaver MDMでは、SAPかSAP以外かを問わず、あらゆるデータソースから製品情報を抽出できるため、1Sync(旧UCCnetとTransora)などの業界標準のデータプールに求められる属性セットに対応した、リッチコンテンツによる製品情報基盤を活用することができます。そして、これらのプールデータを自社のデータと同期することで、食品・消費財業界における各種規制への準拠が実現します。

顧客データの統合

SAP NetWeaver MDMによって、利用できるすべてのデータソースから顧客データを収集・管理することで、効果的な販売、マーケティング、顧客サービス業務に役立つ、総合的な最新の顧客情報にいつでもアクセスできるようになります。

SAP NetWeaver MDMを活用して、信頼できる顧客データリポジトリの構築と強化に努めることにより、事業体や事業拠点をまたがる顧客対応プロセスの調整が、より効率的に行えるようになります。また、既存の顧客関係の全体像を完全に把握することができれば、クロスセリングとアップセリングの強化によって売上は拡大し、よりの確な意思決定のための正確な分析が促進され、さらに、カスタマー・リレーションシップ・マネジメント(CRM)など既存のビジネスアプリケーションのパフォーマンス向上も期待できます。

プロセスの拡張、コストの削減、利益の拡大

SAP NetWeaver MDM は、企業全体にわたる大規模な業務プロセスの拡張とコスト削減に向けた取り組みを支援します。注目すべき点として、以下が挙げられます。

■ 統合された企業情報に基づくビジネスの強化

緊急の問題に対処するだけでなく、将来のニーズにも対応するソフトウェアを使用して、次世代のサービス指向アーキテクチャー (SOA) の基盤を構築できます。

■ 業務プロセスの改善と生産性の向上

信頼性の高い正確なマスターデータをマスターデータリポジトリで集中管理し、共有することで、手作業を減らし、コストを浪費する単純ミスを削減することができます。また、新しい革新的なプロセスを構築し、エンタープライズ Web サービス経由でデータにアクセスすることもできます。

■ クロスセリングとアップセリングの促進

事業体間の関係を見極めることで、得意先ごとの平均購買額を増やしたり、社内サポートプロセスを改善したりするための取り組みが促進されます。

● エンドツーエンドのソリューションによる

定量化可能な投資回収率 (ROI) の創出

SAP NetWeaver MDM では、企業内のあらゆるマスターデータオブジェクトを一元的に管理することができます。SAP NetWeaver は業務プロセス管理、アプリケーション統合、ビジネス分析の各機能を含む、あらかじめ統合されたオープンなプラットフォームです。SAP NetWeaver のコンポーネントである SAP NetWeaver MDM を使用することで、総所有コスト (TCO) の削減、導入の迅速化 / 簡素化、展開と維持にかかるコストの削減が促進されます。

■ 印刷物製作の時間 / 費用の大幅な削減

SAP NetWeaver MDM では、セントラルリポジトリから一般的な DTP プログラムに対して情報を直接書き出すことができるほか、フォーマット済みでデータも入力済みのページレイアウトを自動的に生成することができます。

■ 「統一された情報ソース」に基づく的確な意思決定

セントラルリポジトリから SAP NetWeaver BI にデータを送り込むことにより、分析とレポートの信頼性が向上します。データの精度が高まるほど、分析や意思決定の正確性も向上します。

■ 導入コストの削減

SAP NetWeaver MDM は、SAP のほかのアプリケーションを必要とせず、また、特定のデータベースにも依存しないソフトウェアです。その結果、従来のように月単位、年単位ではなく、数週間という短期間での導入が可能です。

さらに詳しい情報は

SAP NetWeaver MDM とそのほかの SAP NetWeaver コンポーネントの詳細や、これらのソリューションを活用する方法については、以下の Web サイトをご覧ください。

<http://www.sap.com/japan/platform/netweaver/components/mdm/index.epx>